

[19] エネルギー史研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13819>

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として. 19, 2004-03-01. 九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門
バージョン：
権利関係：

九州大学石炭研究資料センター編集

エネルギー史研究

——石炭を中心として——

No. 19

2004.3

-
- 炭鉱資本における教化活動としての安全運動の構造と展開 ……………野依 智子 (1)
- 官営八幡製鉄所における鉱石輸送 ……………大島 久幸 (29)
- 明治期における坑業災害と炭坑経営
——豊国炭坑・ガス爆発事故の事例から—— ……………河村 輝樹 (47)
- 戦時中の北海道石炭輸送 ……………古川由美子 (73)
- 一九一〇年代における北東アジアの鉱業政策
——朝鮮を中心として—— ……………庾 炳 富 (87)
- 「温情主義」と欧州の接点 ……………土井 徹平 (109)
- 幸袋工作所の百年
——石炭と歩いた光芒の軌跡—— ……………深町 純亮 (141)
- 【書 評】柳承宙著『朝鮮時代鉱業史研究』……………庾 炳 富 (173)
- 【調査報告】再度釧路コールマイン株式会社を訪れて ……外川健一・庾炳富・萩原義弘 (177)
- 【調査報告】中国撫順炭鉱の堅坑槽 ……………徳永 博文 (183)
-